

# 南海トラフ地震が来る! あなたの行動と緊急消防援助隊が「命」を守る

甚大な被害が予想され、いつ起こってもおかしくない南海トラフ地震。迅速かつ的確に対応できるよう、静岡県で過去最大規模の訓練が行われています。この機会に、地震の特徴や、必要となる行動・準備を知り、いざという時に命を守ることができるよう、備えておきましょう!

## 知っておきたい! 南海トラフ地震の特徴

30年以内にM8~9クラスの地震が発生する確率は70~80%

過去から繰り返し発生

一度の揺れとは限らない

連続することも!

※東側で発生した地震に連動して西側で地震が発生する可能性もあります

想定震源域が広い南海トラフ地震では、東側と西側の地盤が別々に割れるケースがあることから、巨大地震が時間差で連続して発生する恐れがあります。一度大きな地震が来た後、このような現象を察知して発令されるのが「南海トラフ地震臨時情報」です。後発地震の発生に備え、情報のレベルに合わせて、適切な行動をとる必要があります。

## 南海トラフ地震を想定した「緊急消防援助隊全国合同訓練」

### 「緊急消防援助隊」とは?

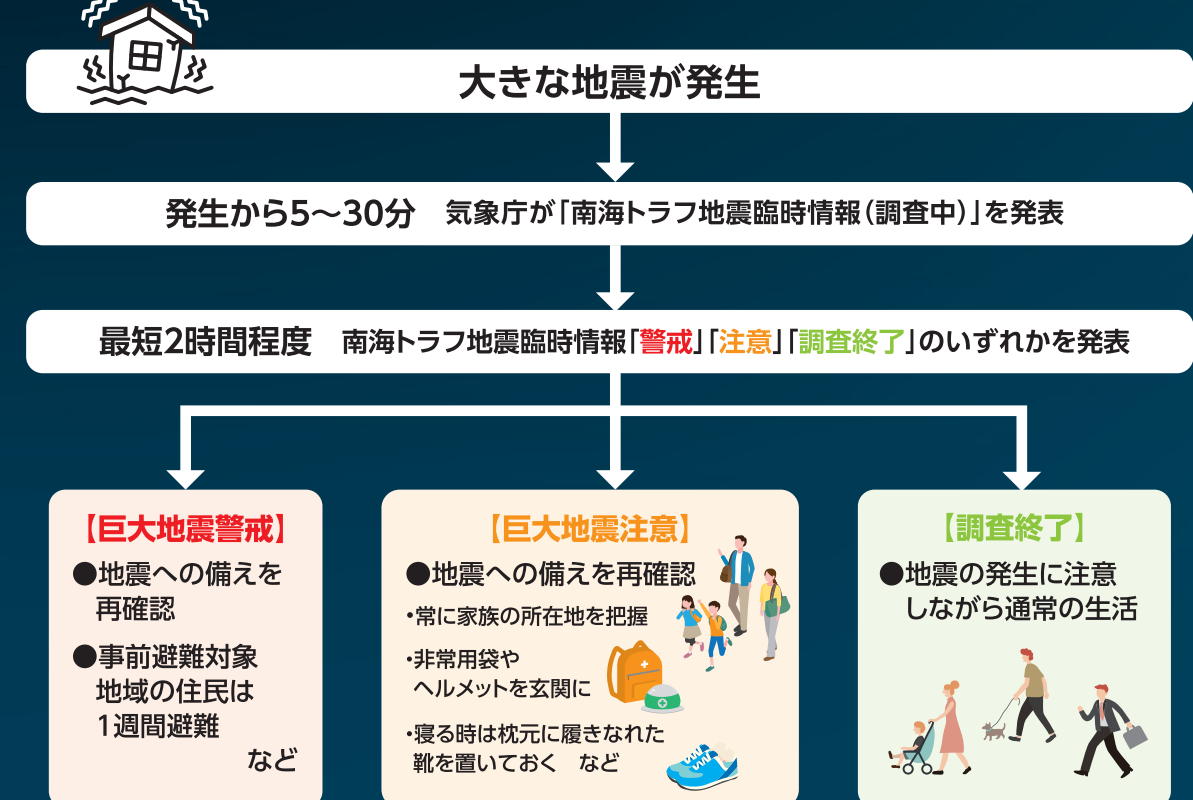
災害時は全国から集結! 大規模災害や特殊災害が発生した場合、被災地の消防機関だけでは対応できないことがあります。そのようなとき、被災地とは異なる都道府県から応援に駆けつける消防部隊を「緊急消防援助隊」といいます。平成7年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて創設され、以降定期的に合同訓練を行っています。

### 図上訓練 7月27日(水)



訓練に参加して 事前に内容を明かさずにインディ方式の訓練で、本番さながらの緊張感がありました。実際の災害時に緊急消防援助隊の応援を円滑に受けられるよう、今後も訓練を積み重ねていきます。

## 「南海トラフ地震臨時情報」が発令されたら...



## みんなで減災! 南海トラフ巨大地震の犠牲者を一人でも少なくするために

県は2013年~2022年の10年間で、想定される南海トラフ地震の犠牲者を8割減少させる「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」を推進し、住宅耐震化、防潮堤整備、避難先の確保など全国トップレベルの対策を行ってきました。犠牲者をあと1割減らすためには、皆さんの**早期避難**が必要になります。緊急時には、近隣の**津波避難タワー**や**津波避難ビル**へ早急に避難をお願いします。

犠牲者	約7割減	約8割減
建物倒壊・火災 約9300人	住宅の耐震化・防潮堤の整備・避難先の確保 約33000人	早期避難意識向上 約20000人

1週間分の食料確保も! 災害時と臨時情報発表時ともに物資の不足が予想されます。有事の際に慌てないよう、日頃から1週間の備蓄を心掛けましょう。

## 実動訓練 11月12日(土)・13日(日)

全国46の各都道府県から緊急消防援助隊や自衛隊などが静岡県に参集。南海トラフ地震を想定した地震・津波災害対応訓練、土砂災害救出訓練などが行われます。

全国から約700台の消防車両が参加

空・海からも応援部隊が参加

総勢、史上最多の約3000人が参加!

訓練の計画・実施を進める第6回緊急消防援助隊全国合同訓練プロジェクトチームメンバー

一般公開も予定しています!

【問い合わせ】 ●南海トラフ地震について 県危機政策課 ☎054(221)3731 FAX 054(221)3252 ●訓練について 県消防保安課 ☎054(221)2926 FAX 054(221)3327

### 新型コロナウイルス感染症関連 #8000 こどもの救急 電話相談

新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、9月30日(金)まで24時間体制に拡充して相談を受け付けています。

**看護師や小児科医がアドバイスします!**

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から、局番なしの **#8000**

ダイヤル回線の固定電話、IP電話、#8000をご利用いただけない地域からは、 ☎054(247)9910

相談時間 **~9/30 24時間** (10/1以降: 平日/18時~翌8時、土曜日/13時~翌8時、日・祝日/8時~翌8時) 緊急・重症の場合は迷わず **119へ!**

【問い合わせ】 県地域医療課 ☎054(221)2406 FAX 054(221)3291

### #その他の相談窓口など

発熱などの症状が出て心配が強いとき

- かかりつけ医に相談
- かかりつけ医がない場合
  - 静岡県発熱等受診相談センター ☎050(5371)0561
  - 静岡市保健所 ☎054(249)2221
  - 浜松市保健所 ☎0120(368)567

※発熱や風邪症状のみは、土日・夜間外来の受診はお控えください

【問い合わせ】 県新型コロナ対策推進課 ☎054(221)2339 FAX 054(221)2261

### 海外からの“旬な”お便り

県台湾駐在員事務所 宮崎 傑三 所長

【県台湾駐在員事務所とは?】 静岡県と台湾との交流の促進のため、2013年4月に開設されました。県産品販路開拓、観光誘客、教育旅行、防災分野など幅広い分野において、一層の交流を進め、静岡県と台湾の皆さまに喜んでいただけるよう取り組んでいます。

【サイクリングで楽しむ“食べ乗り”グルメ】 新型コロナウイルスの影響下でも、休日は外出する人々の姿が見られるようになりました。台湾ではサイクリングをする人が多く、台北市内だけでも総延長100キロメートルほどの自転車道があります。そこでのサイクリングの楽しみの一つは、市民に人気の地元グルメです。お団子にひき肉が入っている「鮮肉湯圓」、かき氷の上に小豆を乗せ練乳をかけた「紅豆煉乳氷」。皆さんも台湾に行かれる機会がありましたら、ぜひお楽しみください。

さらに詳しい内容はこちらで!!

### リニア中央新幹線静岡工区

第15回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議の開催 (第2回環境保全有識者会議)

令和4年8月2日に生態系への影響回避などを議論する第2回環境保全有識者会議(国主催)が開催されました。

会議では、論点整理に当たっての関係者ヒアリングが行われ、県から、これまでの県生物多様性専門部会におけるJR東海との対話の状況などについて説明を行いました。

委員からは、「種の保全という数値や数量からの観点のみならず、生態系全体として、詳しく把握した上で、対策を検討する必要がある」などの意見がありました。

今後、大井川流域市町などに対するヒアリングも行われる予定です。

【問い合わせ】 県環境局 ☎054(221)2421 FAX 054(221)2940